

玉島市民交流センタークリスマスプレゼント

ヴィヴァルディ「四季」全曲演奏

岸本 萌乃加 ヴァイオリン

kishimoto

honoka

倉敷アカデミーアンサンブル

指揮: 江島 幹雄 チェンバロ: 竹内 京子

2018 12/22 土 15:00開演 (14:30開場)

会場

玉島市民交流センター 湊ホール

倉敷市玉島阿賀崎1-10-1 ☎086-526-1400
(玉島文化センターバス停徒歩5分)

※駐車場に限りがありますので公共交通機関のご利用、
乗りあわせをお願いします。
※親子室、車いす席は予約をお願いします。

入場料

一般: 2,000円
大学生以下: 1,000円 **全席自由** (当日各500円増)

演奏
曲目

- 第1部 ヴァイオリン独奏
イザイ: 無伴奏ヴァイオリンソナタ第2番
パツハ: 無伴奏ヴァイオリンパルティータ第2番「シャコンヌ」
- 第2部 ヴィヴァルディ: ヴァイオリン協奏曲集「四季」
(当日は変更する場合があります)



倉敷アカデミーアンサンブル



岸本 萌乃加(ヴァイオリン)



江島 幹雄(指揮)



竹内 京子(チェンバロ)

主催・お問い合わせ・チケット販売 / **玉島市民交流センター** TEL.086-526-1400

倉敷市玉島阿賀崎1-10-1

(チケットの取り置きは住所・氏名・電話番号・チケット区分・枚数を記入してFaxにて受付します。Fax086-526-1407)

チケット販売 / アルスクらしきチケットセンター ☎086-434-0010 インディスク(天満屋倉敷店4階) ☎086-422-1457
岡山シンフォニーホールチケットセンター ☎086-234-2010 ぎんざや ☎086-222-3244

後援 / 倉敷市・山陽新聞社・RSK山陽放送・KSB瀬戸内海放送・FMくらしき・玉島テレビ放送・倉敷音楽協会
玉島文化協会・くらしき作陽大学 / 作陽音楽短期大学・玉島信用金庫・玉島おかみさん会

岸本 萌乃加(きしもと ほのか)ヴァイオリン

岡山県倉敷市出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高校を経て、東京芸術大学を首席で卒業するとともに、アカンサス音楽賞及び三菱地所賞を受賞。現在東京芸術大学大学院修士課程在学中。

「佐渡裕とスーパーキッズオーケストラ」メンバーに選抜され第2期、3期に参加。

全日本学生音楽コンクール バイオリン部門 高校の部 大阪大会第1位。日本クラシック音楽コンクール バイオリンの部 高校の部 第1位グランプリ。宗次エンジェルヴァイオリンコンクール 第3位及び聴衆賞。東京音楽コンクール 弦楽器部門第1位。横浜国際音楽コンクール 弦楽器部門高校の部 第1位及びジェラルム・プーレ賞ならびにグランプリ。秋吉台音楽コンクール室内楽部門にてピアノ黒岩航紀と出場し第2位(最高位)。第86回日本音楽コンクール第3位。

ヤングプラハ国際音楽祭の日本代表として招聘されコンチェルトを演奏、またプラハ各地でハーフリサイタルを開催する。またニュージーランドへ親善大使として派遣され、クライストチャーチでリサイタルを開催。

円光寺雅彦、梅田敏明、宮本文昭、山下一史、高関健各氏とともに、各地オーケストラ、芸大フィルハーモニーオーケストラ、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団などとコンチェルトを多数協演。また学内外において様々なアンサンブル活動やソロリサイタルなどを行っている。公益財団法人 ロームミュージックファンデーション2012、2013年度奨学生。公益財団法人 青山財団2015年度奨学生。公益財団法人日本演奏連盟宗次エンジェル基金2018年度奨学生。

現在、澤和樹、長原幸太、玉井菜採、小栗まち絵、ジェラルム・プーレ各氏に師事。

NPO法人イエローエンジェル(宗次コレクション)より1840年製Pressendaを貸与されている。



江島 幹雄(えじま みさお)指揮

東京藝術大学及び同大学院修了。ヴァイオラを内田博、浅妻文樹、井上武雄、ウィリアム・プリムローズの各氏に師事。室内楽をルイ・グレーラー氏、指揮法を山田和男氏に師事する。東京都交響楽団ヴァイオラ奏者として活躍の後、作陽音楽大学(現くらしき作陽大学)に赴任、この間コンチェルトのソリストや数多くの室内楽の演奏会に出演する。



1982年より18年にわたる「アルシェ弦楽四重奏団」の活動をはじめ、2001年3月の国立ブルガリア室内楽オーケストラを共演したChr.パツハのヴァイオラコンチェルトは、その卓越した技巧と豊かな音楽性により高い評価を受ける。一方、指揮者として「作陽音楽大学弦楽合奏団」、「マルチェロ室内合奏団」の常任指揮者を歴任。1984年に「倉敷ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ」の設立に参加、以来常任指揮者及び音楽監督を務め青少年の音楽育成に情熱を傾けている。1985年、86年、中国政府の招きにより、北京中央音楽院でのオーケストラ指導のため訪中。1988年1999年には倉敷ジュニア・フィルハーモニーオーケストラを率い北京・上海・蘇州にて演奏会を開催する。また、倉敷を中心に活発な音楽活動を展開している「倉敷アカデミーアンサンブル」と共にニュージーランド公演を成功させるなど、同アンサンブルの常任指揮者として西日本を中心に精力的に演奏会を開催している。2018年3月に倉敷市立大学学長職を退任後、くらしき作陽大学特任教授に就任。

現在、倉敷ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ音楽監督、倉敷アカデミーアンサンブル常任指揮者、アンサンブル早島音楽監督、くらしき作陽大学特任教授。

好評を得る。2000年7月には九州演奏旅行を成功させ、同年11月真庭音楽祭に出演する。近年、笠岡市竹喬美術館をはじめ井原市田中美術館、鴨方町、高梁市、奥津町など その活動は県内各地に及んでいる。演奏活動は国内にとどまらず、1999年中国・蘇州市にて日中友好事業、さらに2002年4月ニュージーランド・クライストチャーチ市での演奏会を成功させる。活動目標のなかには地域の音楽文化の向上および、社会におけるクラシック音楽の必要性を伝える活動や、コンサート会場に来場することが難しい人たちのために、病院・福祉施設などに出向き、「生の音楽」を提供する。また、教育の面では学校教育現場での音楽教室の開催や就学以前の幼児へ音楽を提供し、早期情操教育に寄与することが掲げられる。

2004年にはこうした活動に対し、福武文化振興財団(現・福武教育文化振興財団)より、福武芸術文化奨励賞を受賞。大オーケストラの活動が活発な今日、取立て小編成のアンサンブルの魅力を追及するべく結成された倉敷アカデミーアンサンブルの今後の活躍が大いに期待される。

竹内 京子(たけうち きょうこ)チェンバロ

東京芸術大学附属音楽高等学校、同大学音楽学部卒業後、同大学院音楽研究科を修了。ウィーンのベーゼンドルファーザール、ケルンのWDR放送局において、ヴァイオリニストの夫 竹内民男氏とデュオアーベントを開催。オーケストラ・アンサンブル金沢の首席チェリスト ルドヴィート・カンタ氏を加えたピアノトリオのライブ録音、ショパン作曲ピアノソナタ第3番を含むCD『音想』をリリースするなど、ソロや室内楽の分野で活躍。また、各地でピアノ指導者講座講師やピアノコンクール審査員を務める。



現在、くらしき作陽大学音楽学部長、同大学院音楽研究科長、教授。

倉敷アカデミーアンサンブル



1994年に「芸術」「福祉」「教育」を3つの柱とし、常任指揮者の江島幹雄氏(くらしき作陽大学特任教授)のもと、「より高質のアンサンブル」を合言葉に、倉敷市およびその周辺で活動する弦楽器奏者によって結成された弦楽合奏団である。1997年10月、日本公演のため来日したプラハ交響楽団コンサートマスターのリタ・チェルチュエンコワ氏、及び首席チェロ奏者のミロシュ・ヤホダ氏の指導を受ける。1998年7月大阪摂津音楽祭、同年10月には大分国民文化祭の室内楽部門に出演し